

I 策定の方針等

《策定の方針》

- 「甲府市人口ビジョン」に掲げた目指すべき将来の方向である4つの柱を踏まえた基本目標と目標達成に向けた基本的な方向を設定します。
- 第一期に掲げた基本目標ごとの分析を行い、本市の人口減少における課題を明確にし、その解決に向けた視点を明らかにします。
- 「第六次甲府市総合計画」や「KOFU NEXT ACTION」に位置付けた施策・事業から人口減少の克服や地域活力の維持、増進に資する取組を抽出・整理します。
- 国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念を踏まえた戦略とします。
- デジタルの力を活用し「新たな価値」を生み出すことで、活力や魅力を向上させます。
- 4つの基本目標と各施策に対して、実現すべき成果を重視した数値目標(KPI)を設定し、PDCAサイクルによる効果検証と改善等を実践します。
- 社会情勢の変化などに応じて見直しを行います。

《計画期間》

- 令和2（2020）年度から令和7（2025）年度までとします。

《総合戦略の推進等》

- 市長を本部長とする「甲府市地方創生人口減少対策及びSDGs推進戦略本部」と産官学金労言士で構成する「甲府市地域創生戦略会議」が両輪となり、戦略を推進します。
- 総合計画の実施計画と連動した進行管理を行います。
- 市長のトップセールスなどの情報発信を行うとともに、国内外に効果的かつ戦略的なプロモーションを展開します。

II 第一期総合戦略の分析と現状の課題

《本市の課題》

■転入・転出

- ・若者の転出超過が顕著である
- ・若者の転出の主な理由は「就職」である
- ・東京圏に住む女性の本市へのU・I・Jターンの動きが弱い

■地域産業・雇用環境

- ・事業所・従業員数が減少し、地域の産業全体が縮小
- ・高い有効求人倍率で推移している（人手不足）
- ・業種による雇用のミスマッチが発生している
- ・東京に比べ賃金の差に開きがある

■出生・子育て

- ・女性の減少に伴い出生数も減少傾向にある
- ・子育てする上で、「経済的な負担」や「職場環境」に不安を抱える市民が多い
- ・第3子の希望はあるものの実際の出生数は少ない

■市民満足度

- ・「今後もずっと住み続けたい」と思う若者の割合が低い

《課題解決に向けた施策横断的な視点》

- 分析から見えた人口減少における本市の課題の解決に向け、3つの施策横断的な視点から重点的に取組を推進します。

重点的な取組Ⅰ

U・I・Jターンの促進

重点的な取組Ⅱ

女性活躍の推進

重点的な取組Ⅲ

地域産業の振興と雇用の確保

III 基本目標と施策

『基本目標1』甲府で夢を叶える人材の定着と関係・交流人口の増加

数値目標：純転出数（転出者数－転入者数）

【現状値】458人（平成26～30年平均） 【目標値】（令和7年）139人

施策1 転入促進・転出抑制

○東京圏から近距離にあることや、自然災害の少なさという立地環境の優位性、豊かな自然環境や市街地等の都市的要素など、居住地としての魅力を有していることから、市内の住宅ストック（空き家等）の活用をはじめ、中部横断自動車道の開通やリニア中央新幹線の開業などの交通ネットワークの速達性の向上を見据えた人口流出の抑制と市外からの人口流入を促進します。

施策2 関係・交流人口の創出

○移住の裾野拡大に向け、本市と関わりを持つ方との関係の深化や、本市での暮らし等を体験する取組を推進し、本市に継続的に多様な形で関わる関係人口の拡大に取り組みます。また、自然や歴史など、個性的で豊富な地域資源を活かした観光施策を推進するとともに、増加する外国人観光客の受入れのための環境整備を行うなど、インバウンド対策や市外からの集客増を推進します。

『基本目標2』甲府を支える地域産業と雇用環境の充実

数値目標：市民就業者数

【現状値】102,425人（平成27～30年平均） 【目標値】（令和7年）103,042人

施策3 女性・若者の市内就職の促進

○本市の社会動態の弱みでもある東京方面への転出超過や20歳代前半から後半にかけての顕著な転出超過の抑制を図るため、地元大学生をはじめとする若者世代の地元企業等への就業機会の増進を図るとともに、ワークライフバランスに配慮した働く女性・若者の就業の支援に取り組みます。また、第二新卒者や県外学生への県内就職に係る情報の積極的な発信により、ふるさとでの就労の促進に積極的に取り組みます。

施策4 就業の場の確保・創出

○既存の土地の将来性を見据える中で、関係自治体との連携による企業誘致に取り組みます。また、起業・創業の支援や先端設備の導入等を行う企業の成長支援を推進するとともに、後継者の育成セミナー等を通じた中小企業の事業継承の促進に取り組むなど、雇用の場の確保に向けた取組を推進します。また、販路拡大への支援や本市独自の産業の魅力を発信するなど、地域経済を支える産業の活性化を図ります。

『基本目標3』甲府で希望を叶える総合的な子育て・子育て支援と良好な教育環境の充実

数値目標：出生数

【現状値】1,394人（平成27～令和元年平均） 【目標値】（令和7年）1,375人

施策5 妊娠・出産支援の充実

○市民の妊娠・出産の希望を実現するため、不妊治療費の助成を行うとともに、妊娠時の医療費負担の軽減や相談体制の充実に取り組みます。

施策6 子育て・子育て支援の充実

○医療費をはじめとする子育て家庭の経済的な負担軽減に努め、子育て期における各段階に応じた切れ目ない支援に取り組むとともに、子育て世代以外も含めた、地域全体で子育て・子育てを見守り、支援する環境づくりを推進します。

施策7 教育環境の充実

○確かな学力を備えた、自立した一人の人間として次代を担う子どもたちを育成するため、社会環境の変化や教育課題に的確に対応した取組を推進するなど、良好な教育環境の整備を図ります。

『基本目標4』甲府の未来をつなぐ良好な生活環境の整備と持続可能なまちづくり

数値目標：「今後も甲府市に住みたいと思う人」の割合

【現状値】77.25%（平成26～30年度平均） 【目標値】（令和7年度）80.00%

施策8 持続可能なまちづくり

○山梨県の中核都市として、圏域全体の発展を見据えた近隣自治体との広域連携事業の形成を目指すとともに、充実した地域の保健・医療などの提供による健康づくりの推進や、地域が抱える多様な課題を行政だけでなく、市民・事業者等の多様な主体により解決する協働による支え合いのまちを構築します。また、リニア中央新幹線の開業後の効果を最大限享受するため、移転企業や移住者の受け皿を整備するとともに、都市計画道路の効果的・効率的な整備や立地適正化計画を推進し、持続可能なまちをつくります。

施策9 住みやすいまちづくり

○地域防災力の強化や防犯・交通安全対策を推進し、安全・安心なまちづくりに努めるとともに、本市に住む方々が、家庭や地域、仕事などにおいて、それぞれが生きがいを感じ、それぞれの能力を発揮することができる環境整備や福祉サービスの提供による住みよいまちづくりを推進します。

『基本目標1』“甲府で夢を叶える人材の定着と関係・交流人口の増加”

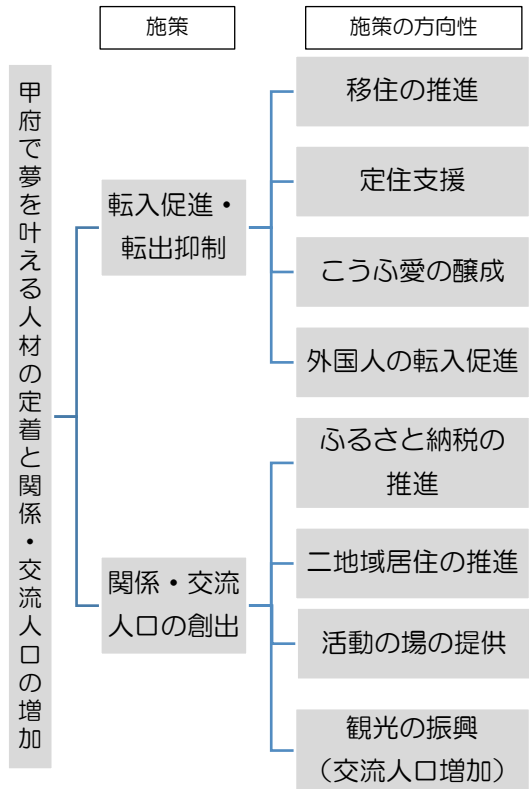
施策1「転入促進・転出抑制」のKPI

○こうふコンシェルジュを介して移住した人数 【基準値】37人（平成27～30年度平均） 【目標値】40人

施策2「関係・交流人口の創出」のKPI

○ふるさと納税件数 【基準値】7,205件（平成30年度） 【目標値】172,000件

○観光入込客数 【基準値】6,293千人（平成30年） 【目標値】8,056千人



《主な取組》

■転入促進・転出抑制

- ・シティプロモーションの推進 ・移住の取組の推進（Ⅰ）
- ・都市農業の活性化 ・空き家対策の推進（移住施策）（Ⅰ）
- ・定住促進住宅の活用（Ⅰ） ・バス利用の促進
- ・リニア開通を見据えた都市環境の創出（Ⅰ・Ⅲ）
- ・遠距離通勤、通学助成制度の推進
- ・中央線の利便性の向上 ・故郷こうふの学びの推進（Ⅰ）
- ・「甲府市の歌」の普及（Ⅰ） ・日本語教育の推進
- ・「やさしい日本語会話、異文化体験サロン」の実施

■関係・交流人口の創出

- ・ふるさと納税のPR ・ふるさと納税者への観光等の情報発信
- ・企業版ふるさと納税の活用 ・都市と農村地域の交流の推進
- ・空き家対策の推進【再掲】（Ⅰ）
- ・リニア開通を見据えた都市環境の創出【再掲】（Ⅰ・Ⅲ）
- ・創作の森おびな事業の推進
- ・観光客の誘客促進（Ⅲ） ・インバウンド観光の促進（Ⅲ）

『基本目標2』“甲府を支える地域産業と雇用環境の充実”

施策3「女性・若者の市内就職の促進」のKPI

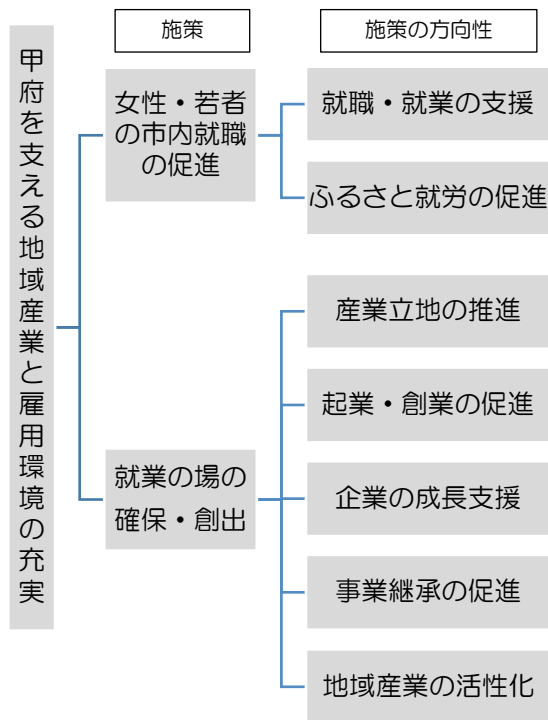
○育児休業給付基本給付金受給者数 【基準値】6,431人（平成30年度） 【目標値】7,000人

○就職を理由に転入する若者数（推計値） 【基準値】1,279人（平成28～30年度平均） 【目標値】1,428人

施策4「就業の場の確保・創出」のKPI

○産業立地等推進事業に係る支援制度の新規適用件数 【基準値】2件（令和元年度） 【目標値】11件（累計）

○起業研修会参加者のうち起業した女性数 【基準値】1人（平成30年度） 【目標値】毎年1人



《主な取組》

■女性・若者の市内就職の促進

- ・合同企業説明会の開催（Ⅰ・Ⅲ）
- ・インターンシップの受け入れ促進（Ⅲ）
- ・地元企業で働く魅力の発信（Ⅰ）
- ・高校生の市内就職意識の醸成（Ⅲ）

■就業の場の確保・創出

- ・企業誘致の推進（Ⅲ） ・優遇制度等の情報発信（Ⅲ）
- ・リニア開通を見据えた都市環境の創出【再掲】（Ⅰ・Ⅲ）
- ・創業者育成等の支援 ・女性の起業等の支援（Ⅱ）
- ・女性おうえん資金による支援（Ⅱ）・女性たちで創るマルシェ等の実施（Ⅱ）
- ・先端設備等の導入における税制優遇
- ・中小企業振興融資資金による支援 ・地場産業の更なる活性化（Ⅲ）
- ・宝石のまち甲府プロジェクトの推進（Ⅲ） ・事業承継への啓発及び支援
- ・新規就農者の育成（Ⅲ） ・甲府ブランド認定制度の推進（Ⅲ）
- ・中心市街地商業等活性化の推進（Ⅲ） ・販路拡大への支援（Ⅲ）
- ・林道の整備（Ⅲ）

『基本目標3』“甲府で希望を叶える総合的な子育て・子育て支援と良好な教育環境の充実”

施策5「妊娠・出産支援の充実」のKPI

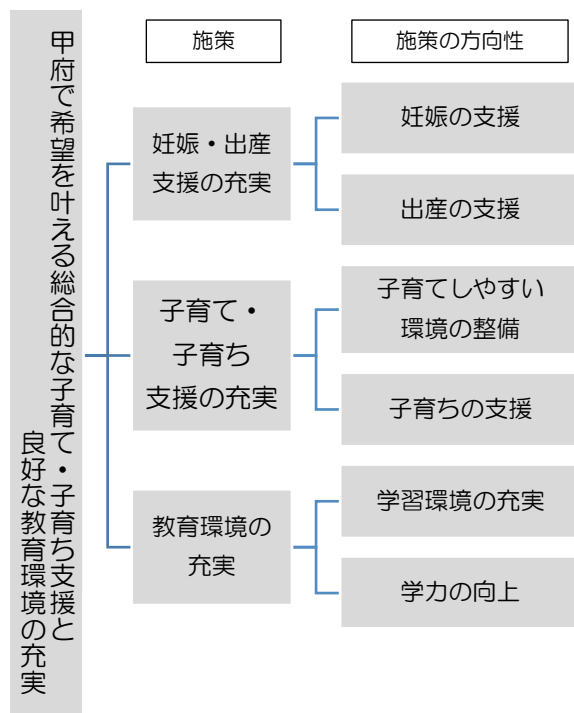
○子育て世代包括支援センター相談指導数 【基準値】5,055人（平成30年度） 【目標値】5,100人

施策6「子育て・子育て支援の充実」のKPI

○「子ども・子育てへの支援が充実している」の実感度 【基準値】2.65（平成28～30年度平均） 【目標値】2.70

施策7「教育環境の充実」のKPI

○「学校の教育内容や教育環境が充実している」の実感度 【基準値】2.67（平成28～30年度平均） 【目標値】2.70



《主な取組》

■妊娠・出産支援の充実

- ・不妊治療費助成による支援 ・産後ケア事業利用費助成による支援
- ・「こども家庭センター（母子保健）」による相談支援（Ⅱ）
- ・母子の健康づくりの推進 ・不育症治療・検査費助成による支援

■子育て・子育て支援の充実

- ・「子ども・青少年総合相談センターおひさま・あおぞら」による相談支援（Ⅱ）
- ・子ども応援施設の整備 ・母子の健康づくりの推進【再掲】
- ・保育所等の運営及び保護者の経済的支援
- ・子どもの医療費助成とひとり親家庭の医療費助成による支援
- ・重度心身障がい児の医療費助成による支援 ・小児救急医療の推進
- ・児童・生徒支援センターの開設 ・不登校総合対策の推進
- ・放課後児童クラブによる支援
- ・学習支援等地域における居場所づくり ・学用品等のリユースの取組の推進
- ・子ども運動遊びの推進 ・子ども体験機会の創出

■教育環境の充実

- ・放課後子供教室の充実 ・サポートティーチャーの充実
- ・時代に即した学習の支援 ・学力向上対策の推進
- ・コミュニティ・スクールの推進

『基本目標4』“甲府の未来をつなぐ良好な生活環境の整備と持続可能なまちづくり”

施策8「持続可能なまちづくり」のKPI

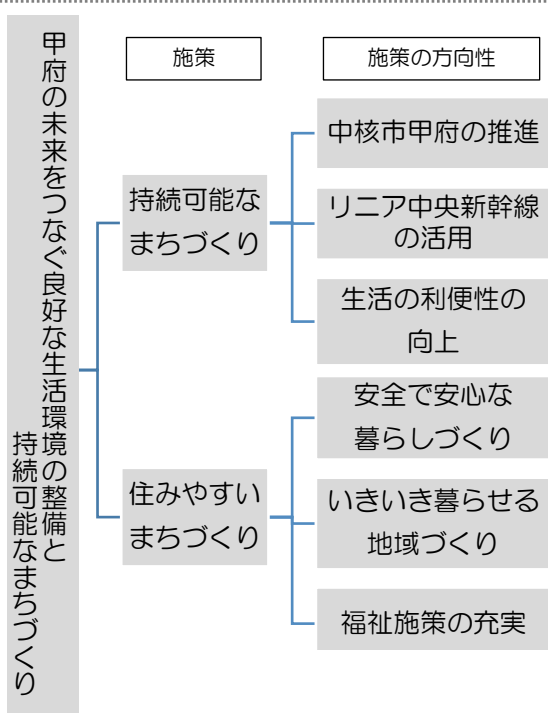
○「広域的行政が、効率的・効果的に行われている」の実感度 【基準値】2.95（平成28～30年度平均） 【目標値】3.00

○「市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている」の実感度 【基準値】2.31（平成28～30年度平均） 【目標値】2.35

施策9「住みやすいまちづくり」のKPI

○「災害に強いまちづくりが進められている」の実感度 【基準値】2.13（平成28～30年度平均） 【目標値】2.20

○「市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている」の実感度 【基準値】2.52（平成28～30年度平均） 【目標値】2.55



《主な取組》

■持続可能なまちづくり

- ・近隣自治体との広域連携事業の形成（Ⅰ・Ⅲ）
- ・SDGs推進パートナー登録制度の充実・強化 ・自治体DXの推進
- ・協働による支え合いの地域づくり
- ・健康支援センターを拠点とした健康づくりの推進、健康危機管理体制の充実
- ・リニア中央新幹線の効果を最大限享受するための取組の検討（Ⅰ・Ⅲ）
- ・リニア開通を見据えた都市環境の創出【再掲】（Ⅰ・Ⅲ）
- ・都市計画道路の整備の推進 ・立地適正化計画の推進
- ・地域のあるべき姿に向けたまちづくりの推進

■住みやすいまちづくり

- ・地域防災力の強化推進 ・関係機関との連携による防犯、交通安全対策の推進
- ・ゼロカーボン及び「こうふグリーンラボ」の推進（Ⅲ）
- ・甲府城周辺地域活性化計画の推進（Ⅲ） ・遊亀公園及び附属動物園の整備
- ・緑が丘スポーツ公園の整備 ・新たなまちなか再生事業の推進
- ・中心市街地活性化対策 ・新たな公共交通の導入
- ・空き家対策の推進（地域活性化施策）（Ⅱ） ・在宅医療・介護連携の推進
- ・人と人が支え合う地域づくり